

Agile Japan 2022

日本初！ディシプリンド・アジャイルパートナーシップ で実現する社会価値創造

2022年11月16日

ソフトウェア&システムエンジニアリング統括部

アジャイルコンサルタント 杉本 俊明

\Orchestrating a brighter world

NECは、安全・安心・公平・効率という社会価値を創造し、
誰もが人間性を十分に発揮できる持続可能な社会の実現を目指します。

本セミナーについて

NECは2022年6月、PMBOKやPMPで有名なPMI(プロジェクトマネジメント協会)と日本だけでなくアジアパシフィック初のDisciplined Agile Consulting Partner(DACP)を締結しました。

本セミナーでは、Disciplined Agileとはどのようなもので、どのように活用できるか、事例を交えて紹介いたします。

ニュース解説

+ 連載をフォロー

NECがプロマネ推進団体の米PMIと提携、持ち込む「アジャイル指南書」の実力とは

安藤 正芳 日経クロステック

2022.07.11

有料会員限定



全2478文字

PR

情報システム部門が知っておきたい／ランサムウェア対策に不可欠な「3つのI」
サービス型ストレージに新たな選択肢 顧客の声から生まれた「新オプション」
【次世代データ基盤構築事例】がん研究会 有明病院はデータ活用で業界リード

NECはこのほど、世界最大のプロジェクトマネジメント推進団体である米プロジェクトマネジメント協会（PMI）と戦略提携を結んだ。PMIが提供するアジャイル開発の推進などに役立つ知識体系「Disciplined Agile（ディシプリンド・アジャイル、DA）」をNECが活用。システム開発のコンサルティングや、DA関連の資格認定研修などの事業を展開する。

NECとPMIによると、DAに関する戦略提携はアジア・太平洋地域では初めて。DX（デジタルトランスフォーメーション）を推進するためにアジャイル開発を導入する企業や、さらに踏み込んで意思決定など企業活動全体のアジリティー（俊敏性）を高めようとする企業が日本でも増えつつある。NECはこうした顧客企業を支援するビジネスにDAを活用する狙いだ。

日経XTECH 2022年7月1日記事より

登壇者紹介



◆ 氏名
杉本 俊明(Toshiaki Sugimoto)

◆ 所属
NEC DBPU ソフトウェア&システムエンジニアリング統括部

◆ 業務内容と経歴
NEC入社後、地方公共団体向けのシステム開発経験を経て、横断組織でソフトウェア開発効率化推進に従事。
現在は、アジャイルプロジェクトでのPOおよびSMの経験をもとに、アジャイルコーチングを通じてNEC-G組織およびお客様内製チームへのアジャイル推進に取り組んでいます。
ビジネス～開発まで一気通貫で対応できる組織への変革を目指している。

◆ 主なアジャイルコーチングプロジェクト

◆通信業向け運用監視システム開発 ◆証券業向け売買支援サービス開発 ◆電気業向け需給調整サービス開発
◆宇宙事業関連システム開発 ◆通信業向け通信料最適化サービス開発 ◆物流業向け倉庫管理システム開発
◆製造業技術支援システム開発(お客様内製チーム)

◆ 主なアジャイルコンサルプロジェクト

◆電気機器メーカー向けアジャイルプロセス整備



1. 戦略性
2. 着想
3. 親密性
4. 責任感
5. 最上志向
6. 個別化
7. 内省
8. コミュニケーション
9. 学習欲
10. 分析思考

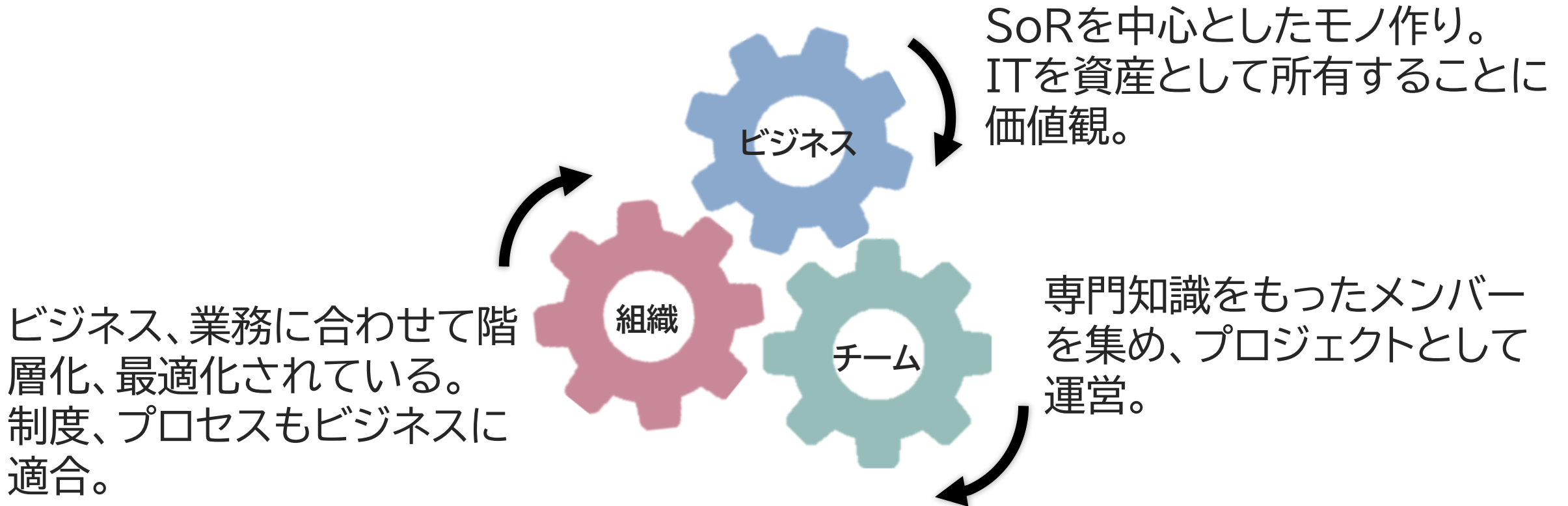
[クリフトンストrengths上位10の資質](#)

多様化する市場課題とプロジェクト

従来のプロジェクト

これまでのウォーターフォール開発中心のプロジェクトは、ビジネス、組織、チームの連携、調和がとれており、成果が創出できていた。

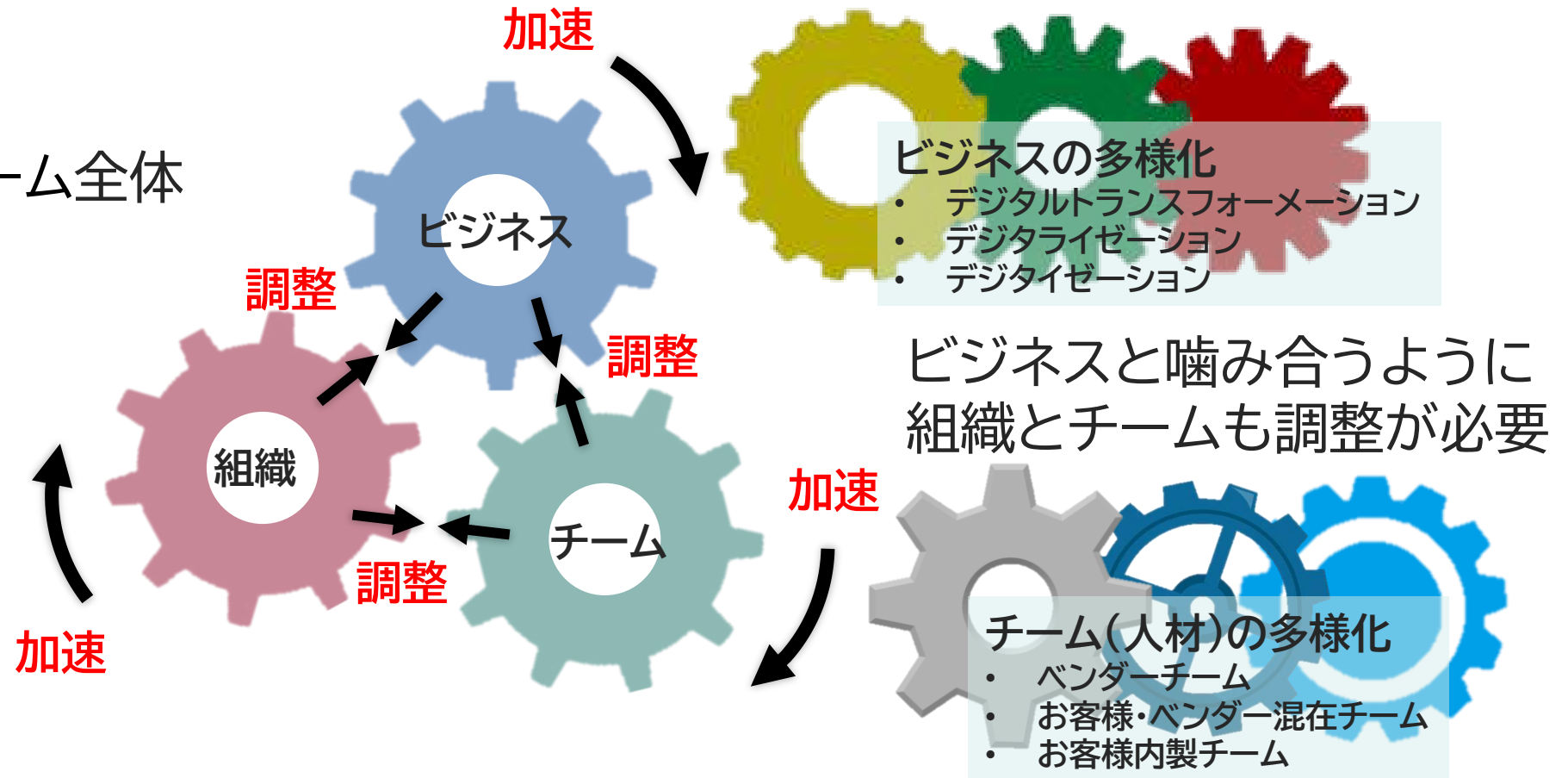
これまでのプロジェクト(ウォーターフォール開発中心)



現在のプロジェクト

市場課題の多様化とともに、ビジネスやチームの在り方も多様化。多様化に伴い、ビジネス、組織、チーム(人材)の調整(テラリング)と加速が必要。

ビジネス、組織、チーム全体の加速が必要。



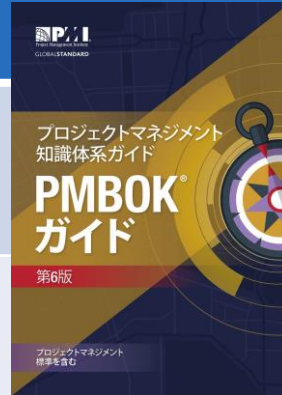
多様化するプロジェクトへの対応

市場ニーズとプロジェクト

市場ニーズの多様化により、それを実現するプロジェクトも多様化。
PMBOKも第7版で大きな変化を見せた。

PMBOK6以前

プロセス主義
5つのプロセス
ほぼ予測型



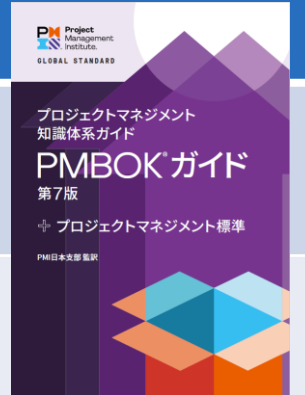
アウトプット重視
10の知識エリア

調整(テーラリング)も考慮

PMBOK7

原則主義
12の原則

予測型(W/F)
ハイブリッド
適用型(アジャイル)



アウトカム重視
8つのパフォーマンスドメイン

調整(テーラリング)は原則
Tailor Based on Context

プロジェクトの多様化による影響～PMBOKの原則主義～

画一的なアプローチでは多様性に対応できないため、プロセス主義から原則主義に。状況(Context)に応じた調整(テーラリング)が原則。

PMBOK6以前
5つのプロセス

立ち上げ

計画

実行

監視
コントロール

終結

PMBOK7
12の原則

勤勉で敬意を払、面倒い見の良い
スチュワードであること

協働的なプロジェクト・チーム環境
を構築すること

ステークホルダーと効果的に関わ
ること

価値に焦点を当てること

システムの相互作用を認識し、評
価し、対応すること

リーダーシップを示すこと

状況に基づいてテーラリングする
こと

プロセスと成果物に品質を組み
込むこと

複雑さに対処すること

リスク対応を最適化すること

適応力と回復力を持つこと

想定した将来の状態を達成する
ために変革できるようにすること

テーラリング

価値を最大限に高め、コストをマネジメントし、スピードを速めながら望ましい成果を達成するため、「過不足ない」プロセスを使用して、プロジェクト、プロジェクト目標、ステークホルダー、ガバナンス、環境のコンテキスト(状況)に基づき、プロジェクト開発アプローチを設計する。

- ▶ 一つとして同じプロジェクトはない。
- ▶ プロジェクトの成功は、望ましい成果を生み出す最適な方法を判断するためにプロジェクト固有の状況へ適応することに基づく。
- ▶ アプローチのテーラリングは反復的であり、プロジェクト期間中に継続的に行うプロセスである。

フレームワークの限界

多様なプロジェクトの実情にフレームワークだけで対応するのは困難。
Disciplined Agileによるテーラリングが有効。

	Scrum 	LeSS  (Large Scale Scrum)	Scrum@Scale 	SAFe  (Scaled Agile Framework)
規模	小規模プロジェクト	中～大規模プロジェクト	中～大規模プロジェクト 企業/組織	大規模プロジェクト 企業/組織
ルール	開発者 プロダクトオーナー スクラムマスター	(スクラムのロール) チーム代表者 エリアプロダクトオーナー	(スクラムのロール) スクラムオブスクラムマスター チーフプロダクトオーナー	(スクラムのロール) リリーストレインエンジニア プロダクトマネジメント システムアーキテクト ビジネスオーナー など
イベント	スプリント スプリントプランニング デイリースクラム スプリントレビュー スプリントレトロスペクティブ	(スクラムのイベント) オーバーオールレトロスペクティブ 	(スクラムのイベント) スクラムオブスクラム スケールドデイリースクラム スケールドレトロスペクティブ エグゼクティブアクションチーム エグゼクティブメタスクラム	(スクラムのイベント) PIプランニング スクラムオブスクラム POシンク システムデモ インスペクト&アダプト

何をもって組織として
市場に出す?

PJルールに
集まらない

ステークホルダー
との関係は?

W/Fと共存
するには?

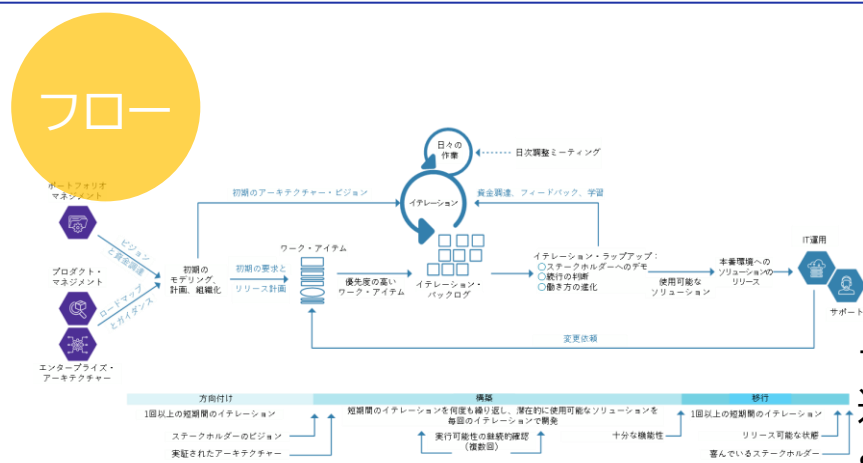
DAによるテーラリングで補完



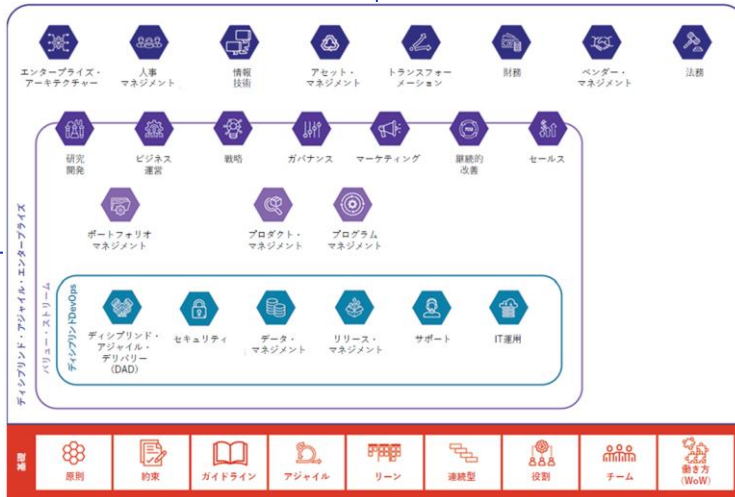
PMIからのメッセージ



選択可能で実用的な戦略やプラクティスを活用し、チームおよび組織での最善の作業方法(WoW)をゴール指向でガイドするためのツールキット。



ゴール指向のアプローチにより、特定の考え方に依存せず、多種多様なプラクティスや戦略をトレードオフを理解した上で系統立って選択



プロジェクトやチームに
適したライフサイクルお
よびワークフローを柔軟
に選択

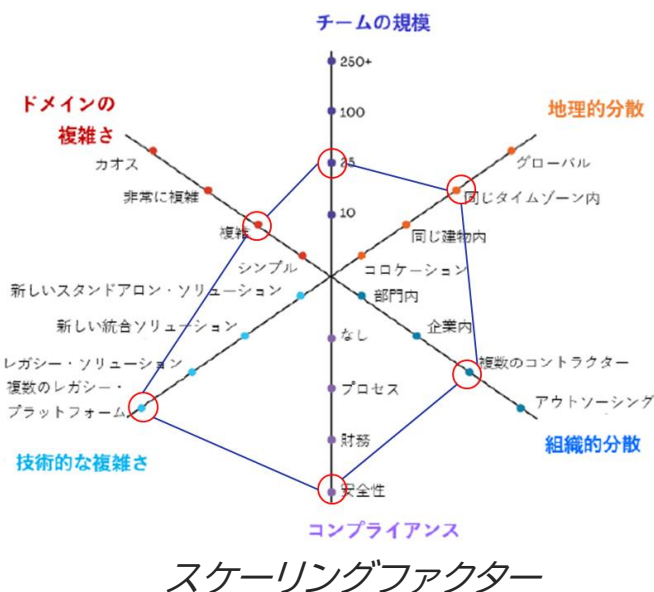
アジャイル、リーン、フ
ローをベースに定めら
れた原則、約束、ガイド
ラインによって説明



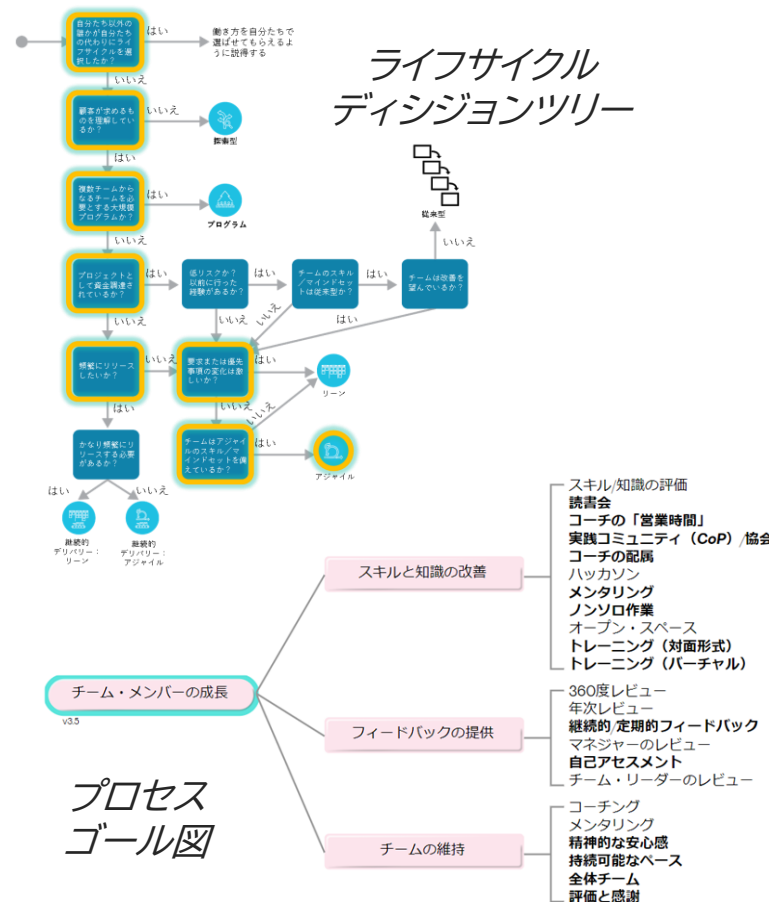
Disciplined Agileとは

プロジェクトやチームの状況に応じ、最善の働き方へのテーラリングをガイドすることで、アジャイルを早く失敗させるだけでなく、早く成功に導く。

状況の把握



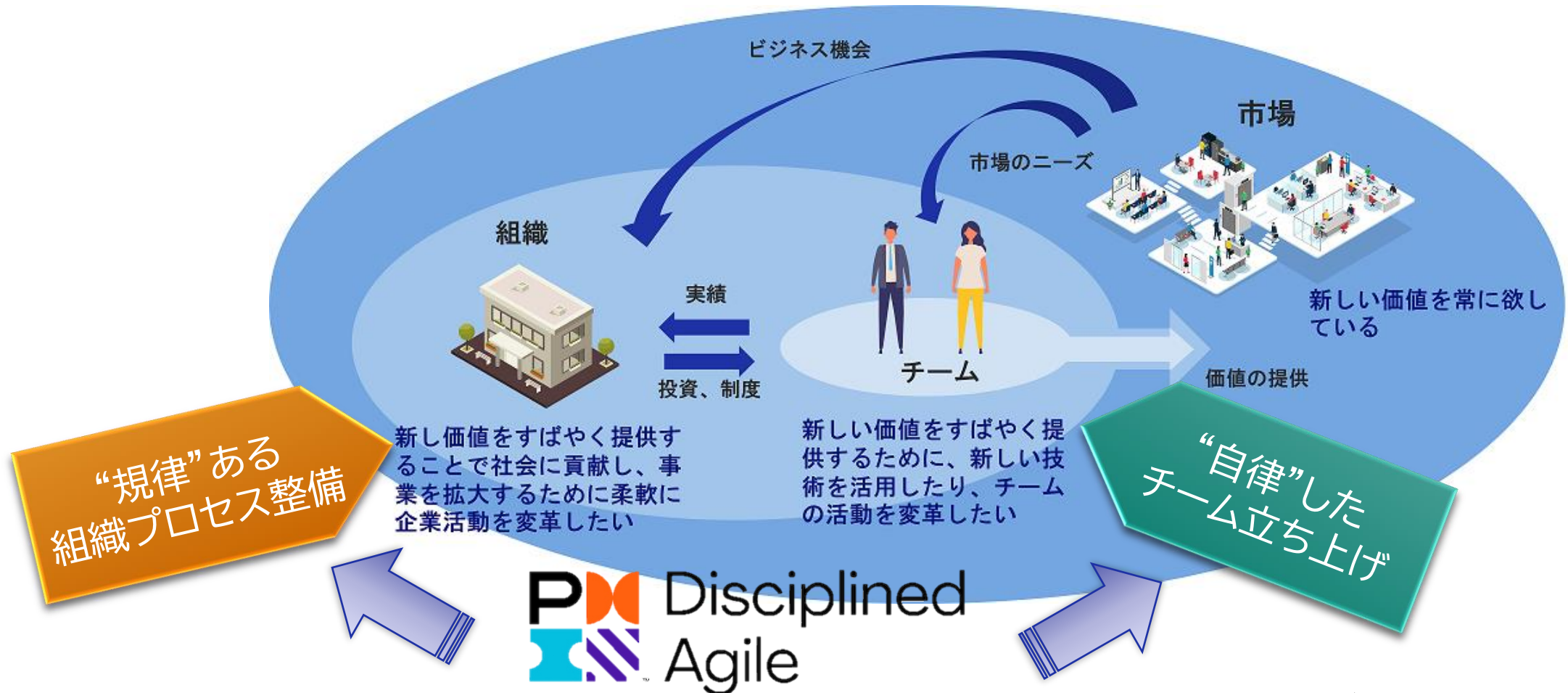
働き方(WoW)の選択



	Scrum + α
ロール	開発者 プロダクトオーナー スクラムマスター アーキテクチャーオーナー
イベント	スプリント スプリントプランニング デイリースクラム スプリントレビュー スプリントレトロスペクティブ
ライフサイクル ワークフロー	アジャイル型ライフサイクル リリース前に移行スプリントを設定
プラクティス	モブワーク モデリング・セッション ユーザーストーリーマップ :
戦略	専門家による初期サポート 一部メンバーのリモート開発 スパイク :

NECが考えるアジャイル

アジャイルをビジネスの一環にとらえ、開発だけに留まらず、お客さま視点で課題に共に向き合い、お客様に価値を提供する。



NECのアジャイルの体系

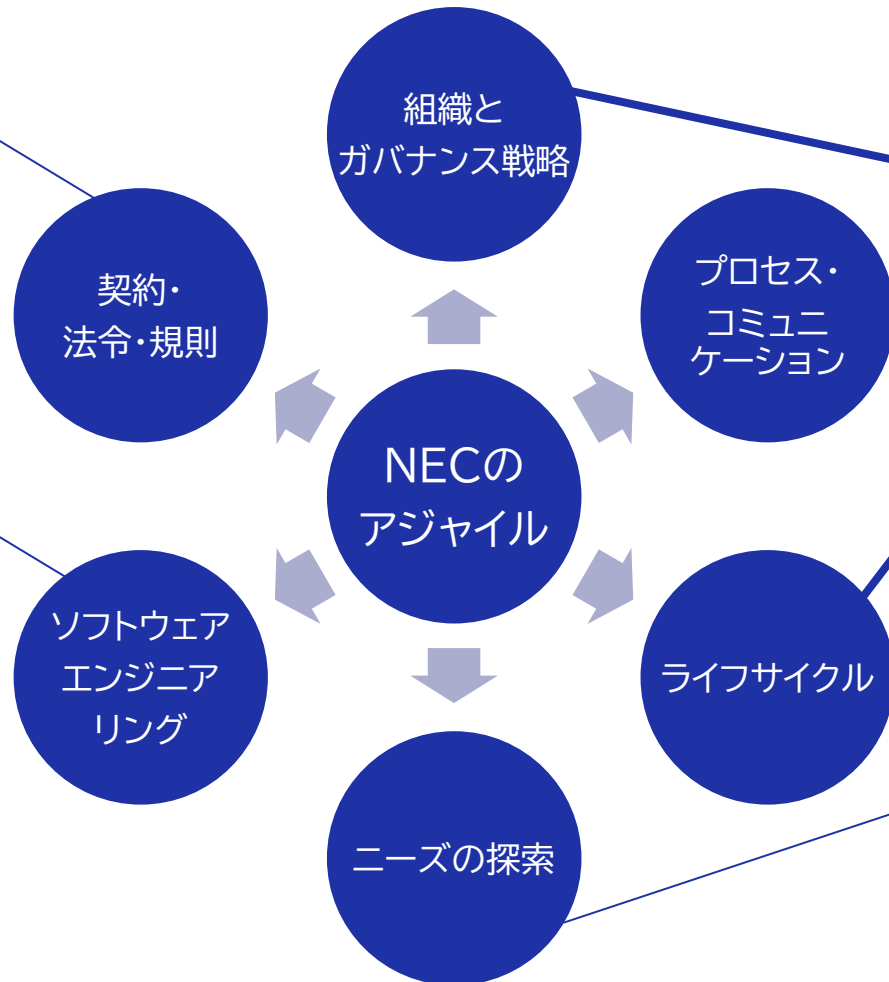
NECのノウハウと、市場、チーム、組織のcase by caseに対応するDAを融合することで、再現性高くプロジェクトを成功に導く。

コンプライアンス

NECグループが大切に考えている価値観（行動基準や行動規範など）に基づき、行動の原点とする。

SWエンジニアリング施策

SWE統括部で培った施策や開発環境、その他技術プラクティスを活用し、開発を効率化。



ゴール指向でガイドする課題解決型ツールキット。チームと組織のcase by caseに対応。



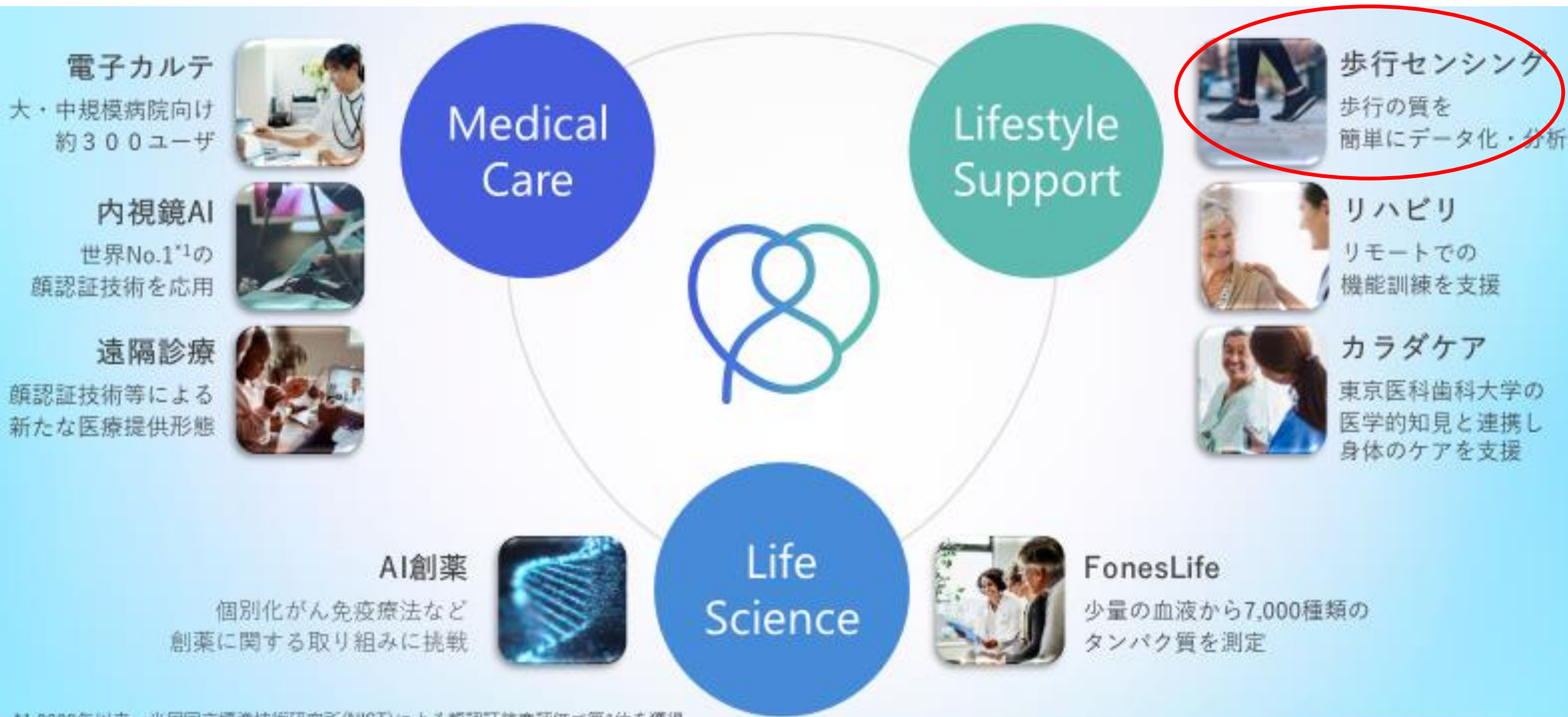
NECのデザイン思考の活用

デザイン思考でニーズを探索し、アジャイルに仮説検証を繰り返す。



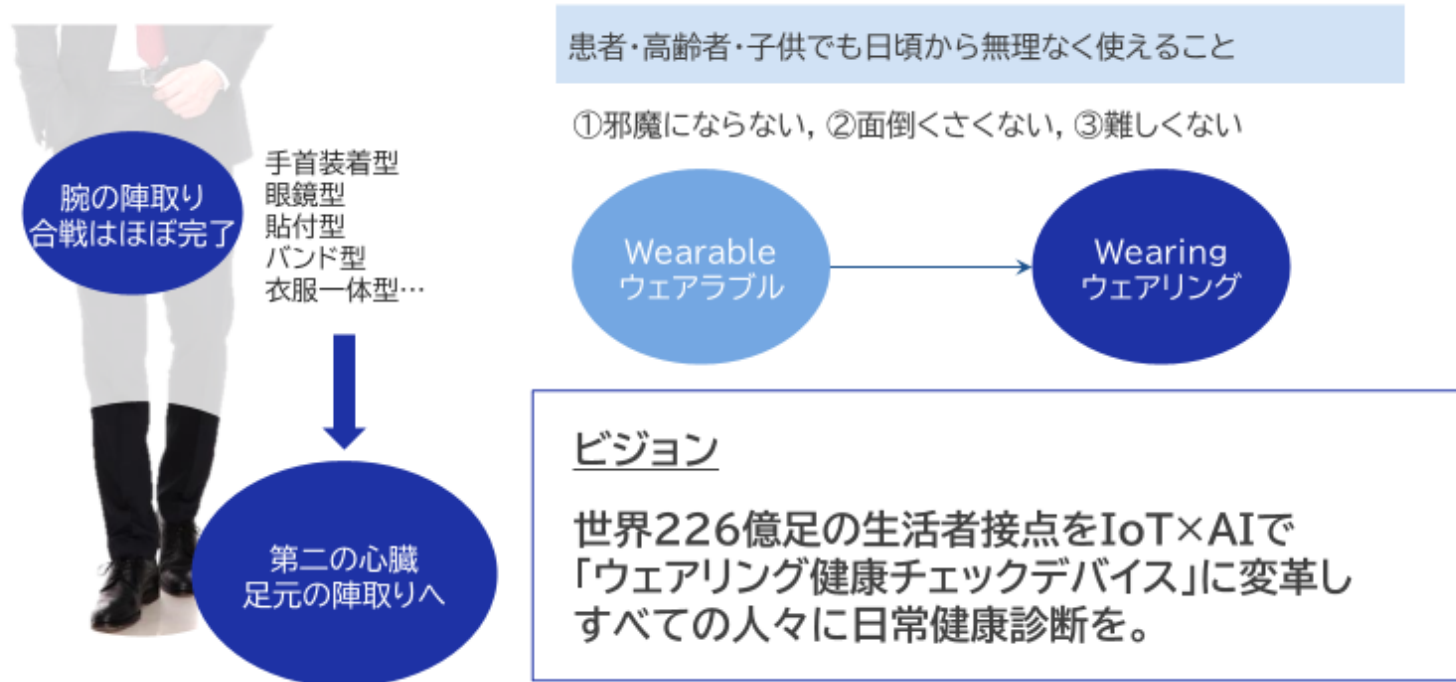
社会価値創造型プロジェクトへの活用

ヘルスケア領域におけるNECの注力事業

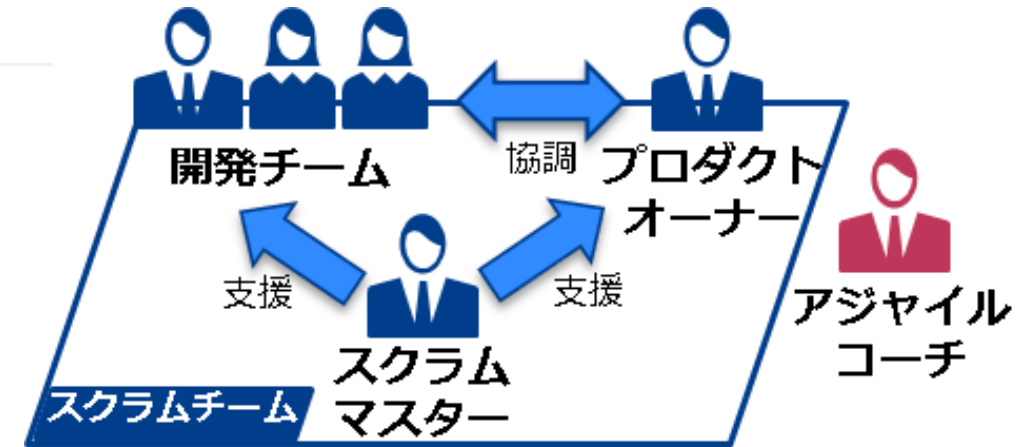


歩行センシングインソール

事業コンセプト：“足元”からのセルフメディケーション



- ✓ アーリーアダプターと実証実験中
- ✓ 実証実験結果に応じて正式開発に着手
- ✓ スクラムでイテレーティブに検証
- ✓ チームは開発者3名の最小構成

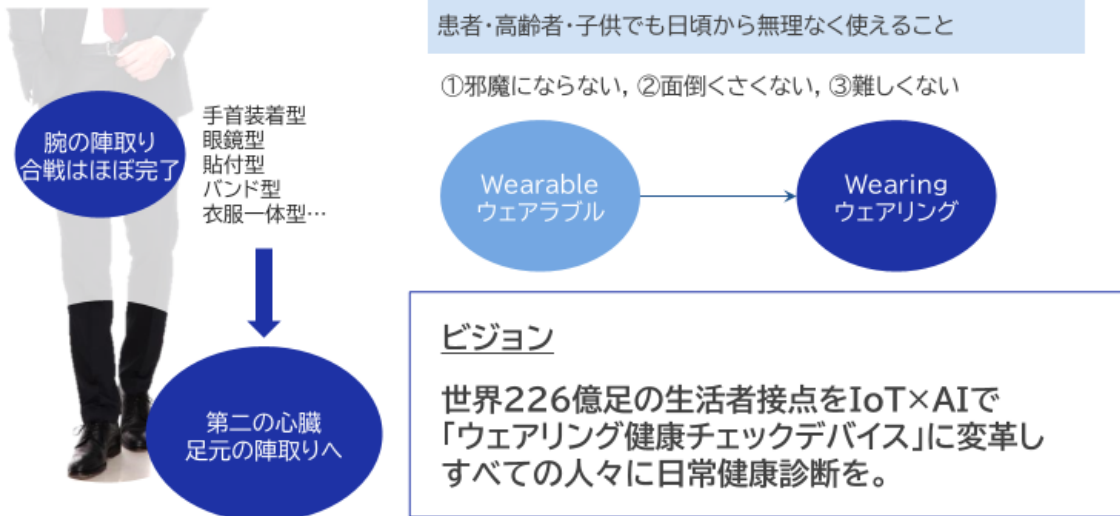


<https://jpn.nec.com/wellness/a-rowg/index.html>

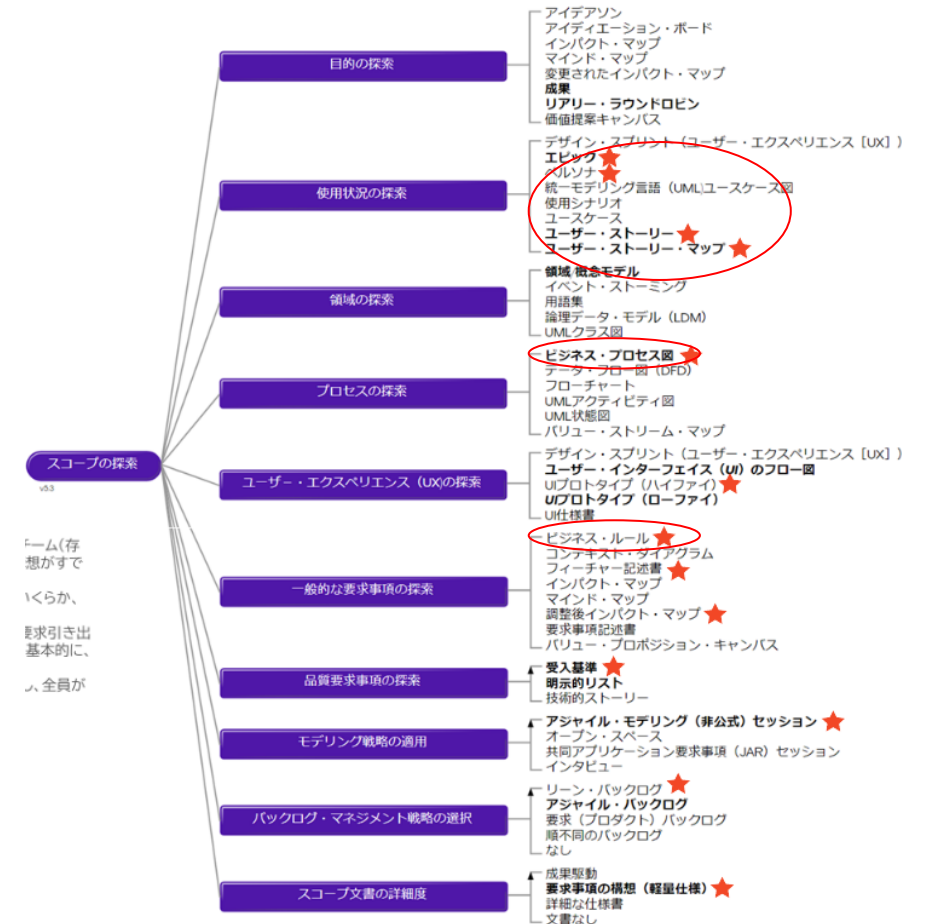
プラクティスの選択 ～新規事業特性による選択～

新規事業開発にともなう実証実験のため、ビジネス価値探索を目的としたユーザーストーリーやビジネス・プロセス図を選択。

事業コンセプト：“足元”からのセルフメディケーション



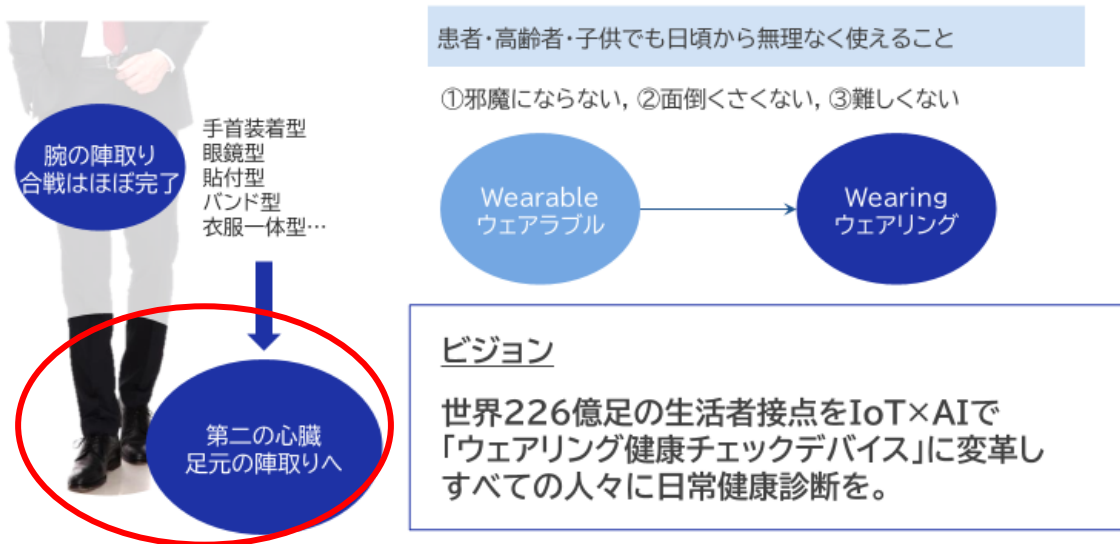
- ✓ アーリーアダプターと実証実験中
- ✓ 実証実験結果に応じて正式開発に着手
- ✓ スクラムでイテレーティブに検証
- ✓ チームは開発者3名の最小構成



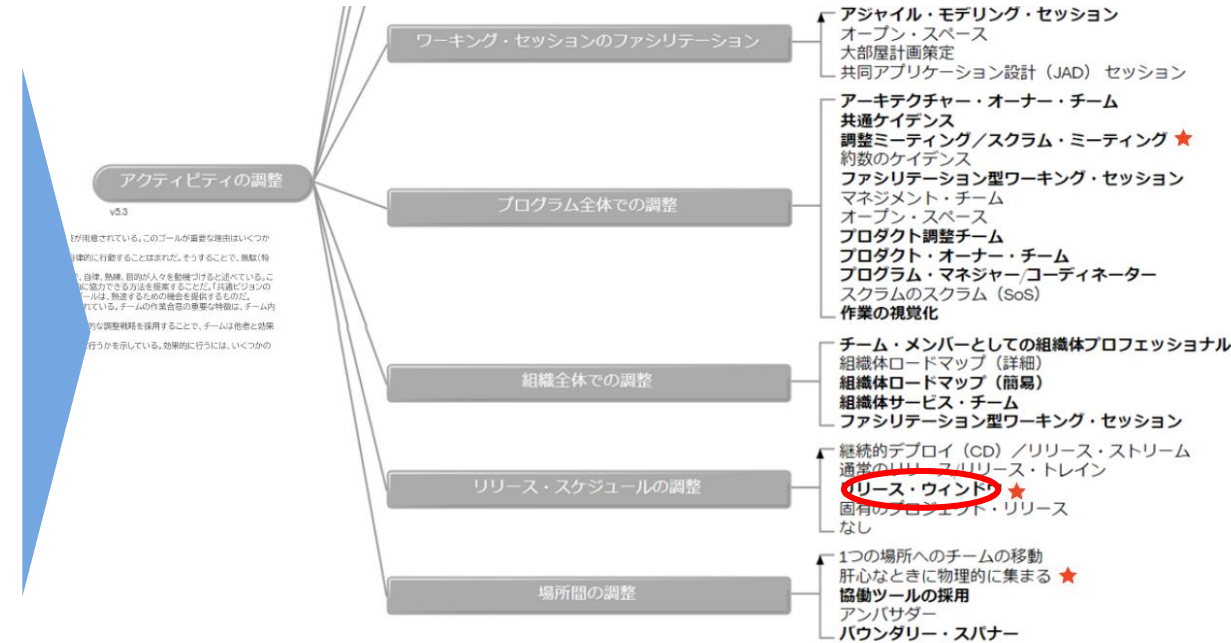
プラクティスの選択 ～ドメイン特性による選択～

リリース時期が決まっているシューズ産業の特性(春夏モデル、秋冬モデル)にタイミングを合わせるため、リリース・ウィンドウを選択

事業コンセプト: “足元”からのセルフメディケーション



- ✓ アーリーアダプターと実証実験中
- ✓ 実証実験結果に応じて正式開発に着手
- ✓ スクラムでイテレーティブに検証
- ✓ チームは開発者3名の最小構成

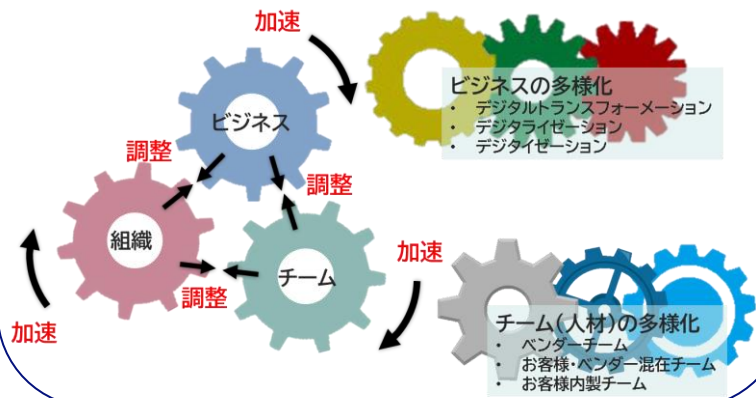


まとめ

まとめ

多様化する社会課題とプロジェクトを成功に導くには、プロジェクトテラリングが重要であり、それを再現高く実現できることは社会価値の実現にもつながる。

市場のニーズの多様化に伴い、プロジェクトも多様化



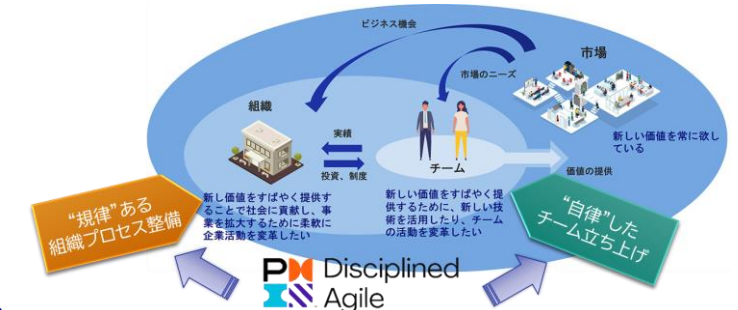
プロジェクトの状況を把握し、それに応じたテラリングが必要

テラリング

価値を最大限に高め、コストをマネジメントし、スピードを速めながら望ましい成果を達成するため、「過不足ない」プロセスを使用して、プロジェクト、プロジェクト目標、ステークホルダー、ガバナンス、環境のコンテキスト(状況)に基づき、プロジェクト開発アプローチを設計する。

- ▶ 一つとして同じプロジェクトはない。
- ▶ プロジェクトの成功は、望ましい成果を生み出す最適な方法を判断するためにプロジェクト固有の状況へ適応することに基づく。
- ▶ アプローチのテラリングは反復的であり、プロジェクト期間中に継続的に行うプロセスである。

体系的なテラリングが、再現性高くプロジェクトを成功に導く



NEC ソフトウェア&システムエンジニアリング統括部

メール: contact-agile@swe.jp.nec.com

お気軽にご相談ください!!!

\Orchestrating a brighter world

NEC